

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第1区分
【発行日】平成18年4月6日(2006.4.6)

【公開番号】特開2000-251508(P2000-251508A)
【公開日】平成12年9月14日(2000.9.14)
【出願番号】特願平11-48181
【国際特許分類】

F 2 1 S 8/10 (2006.01)

【F I】

F 2 1 Q	1/00	E
F 2 1 Q	1/00	N

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月6日(2006.2.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】灯具

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 同一の発光面が複数の機能に用いられる灯具であって、
前記灯具には、少なくとも一方の機能に対応する第一の光源と、他方の機能に対応する第二の光源と、透光性部材とが設けられ、
前記第一の光源は前記透光性部材の背面に対峙して配置され、
前記第二の光源は前記透光性部材の板厚面に対峙して配置され、
前記透光性部材には、少なくともこの透光性部材の内面を伝播するものとなる第二の光源の光を照射方向に向かわせる全反射カットが設けられていることを特徴とする灯具。

【請求項2】 前記第一の光源と第二の光源とは、異なる発光色、若しくは、異なる発光方式とされていることを特徴とする請求項1記載の灯具。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は灯具に関するものであり、詳細には、例えばテール／ストップランプのように同一の発光面が複数の異なる目的として使用される車両用灯具などの構成に係るものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明は前記した従来の課題を解決するための具体的手段として、同一の発光面が複数の機能に用いられる灯具であって、前記灯具には、少なくとも一方の機能に対応する第一の光源と、他方の機能に対応する第二の光源と、透光性部材とが設けられ、前記第一の光源は前記透光性部材の背面に対峙して配置され、前記第二の光源は前記透光性部材の板厚面に対峙して配置され、前記透光性部材には、少なくともこの透光性部材の内面を伝播するものとなる第二の光源の光を照射方向に向かわせる全反射カットが設けられていることを特徴とする灯具を提供することで課題を解決するものである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

【発明の実施の形態】

つぎに、本発明を図に示す実施形態に基づいて詳細に説明する。図1に符号1で示すものは本発明を車両用灯具に応用した例であり、この実施形態では光源にLEDランプを採用した例で説明する。前記車両用灯具1には灯室を構成するハウジング2と、透光性部材であるアウターレンズ3とが設けられ、前記アウターレンズ3の面をもって、例えばテールランプ機能とストップランプ機能など複数の機能に対応する発光が行われるものである点は従来例のものと同様である。